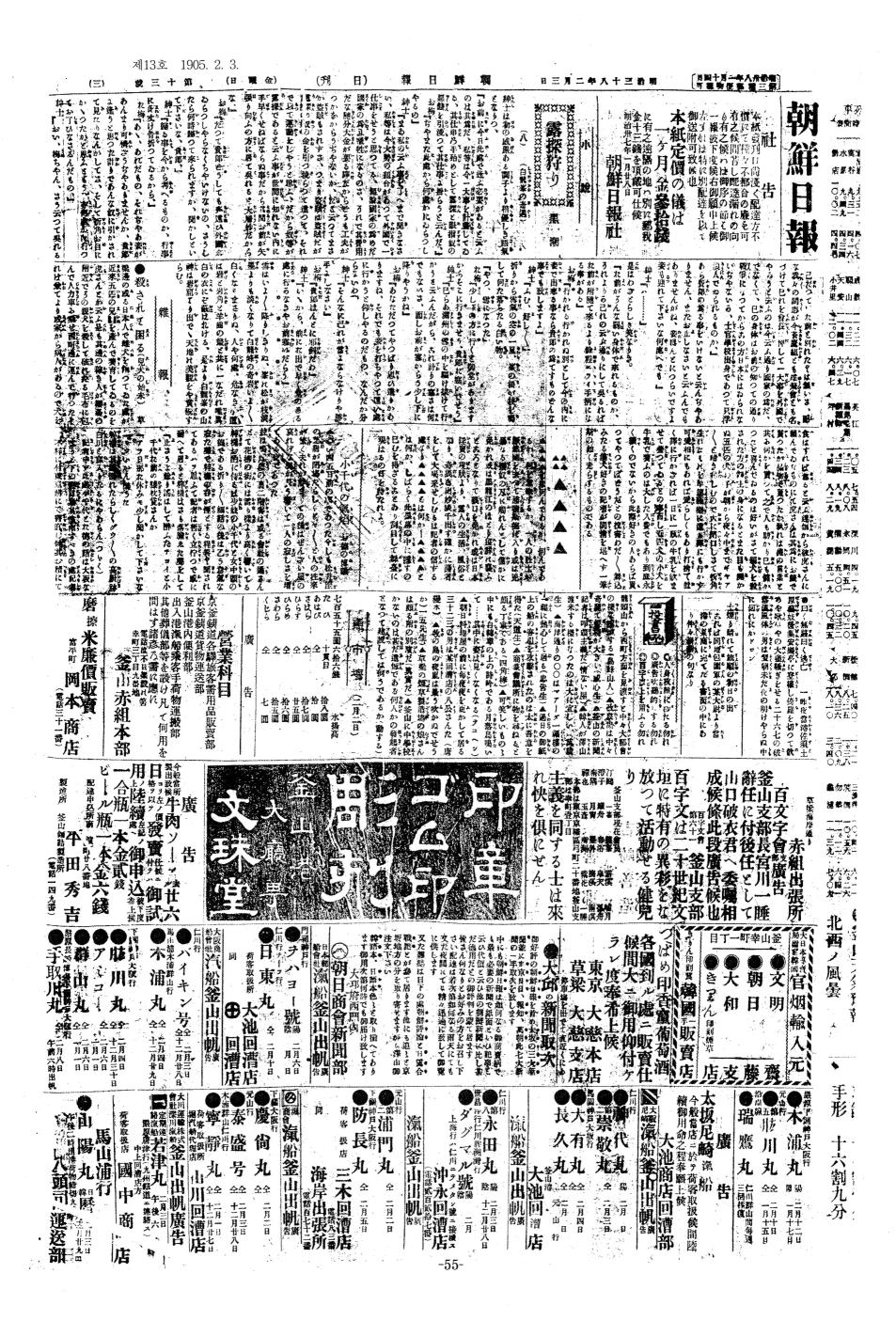


日) 忙がはしく、亂墨の後、日光早く漏れんと数くて積雪の下、春草既に萌ゆるの用意に 近き勝寒に於て一大韓機の衰現を意味する基だ深からざる間に獲移しついるる戦局はあるを使らついあるが加く、我邦人の注意 機れむも何時迄か斯くてある町を、戦局の 駅 亰 電 現場 現川着田 ででは、 て昨今日に頼这に着手せりと聞くと舞し屋に基地に向っての送せらる、由る 五法七十 学公等の字句を清書せんめ寄贈する由なり 後一間は防寒具として熱人チョフォス義勇 後一間は防寒具として熱人チョフォス義勇 では、 を一間は防寒具として熱人チョフォス をできた。 では、 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでする。 のでする。 のです。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでです。 各選を得くれば左の動し、 「共善成せる」と成はれます。 しゃんは 一郎日落成せるにより足役所、受疫を了し うで失れに就て私は面白き 考へを持てましている。 では、 ・ では、 、 では、 ・ ▲然るに此火暖が従業三十人計りで密ると つてるです復讐さると怖がある故に 七七 20 成程起では日本を喰潰し乗る仕食の里な程起では日本を喰潰し乗る仕食の工工三万の兵を加へば一日三十三万の大・川一月千十四万間一年一億二千百万間の大・町一月千十四万間一年一億二千百万間の程を立ている。 現職兄人や歴代不嫌の暗黒宮に於おやルス大等を以て其首を失ふ事故暴態の異と情な英王ナヤ の生民等は之を殺骸去得ると信する事 するが如し一を懸せば他に励る吁一億四千 なる最之を後されば唯死あり墳様あり 現錢一十七割壹 級に激を飛す四く直に消したる泉帝血族病 べし然れども暴虐の原泉は帝は難せずるべる電糸、罪なし帝を顕続する奸佞の徒暴む からす叛徒皆言人難帝の頭をはねよと 有形の上に拒~假合は窓気を罷迫 十六班職頭の軍と情の英王テナー レモン官へも人と置きは自由の 在すと呼自由は實に人生の樂園 以て其首を失人事政器度の課代 影 遇

十七割壹分

愛山天氣象段







500

出華重

慶情雄

man

南州沃

かれた。

SALA

東一帯 だい。正文、念の人・一種 異 郷 いいいのと、一番 大き 一番 大き 一番 大き 一番 大き 一番 美

人人七 一〇五 五二〇

弊店は時局及鑑みたの方法と以て来る(1~1・1・1元で動文で向十日間 見上金の内原価と体験し利益の手法を強されて地震で、 ○武治達以上の資品に對し及品と呈え ○武治達以上の資品に對し及品と呈え ○大品は御承店の上神一覧被下度減少で、対下度減合装型。 ○大品は御承店の上神一覧被下度減少で、 の大品は御承店の上神一覧被下度減少で、 の大品は御承店の上神一覧被下度減少で、 の大品は御承店の上神一覧被下度減少で、 の大品は御承店の上神一覧被下度減少で、 第壹回臨時販賣廣告 大地 大村 卷

Щ

支 店

國最良煙草

LIDA 0 ONY

各

位

樣

各大及 電話東语心香

大日

手販賣係

3

M

嶋

支

店

與

赴

本

.

特約販賣店 清酒特約販賣廣告 富 邳

多少小不抱御用仰付被下度偏に小脈し迅速御便宜を相計り可申依ら以特別大勉强を以て顧客諸で、人一人を受ける。 マ不込を物で A 合 0 間に奉懇願候の神法文を諸氏の神法文 支 店

く御禮中上候陳者私義改良白毛染發明に付數年來苦 離啓渡韓以來皆樣の御川立る預り日增繁昌致候事深 髪店方へどんく一御光來之程奉希上候 問いず、兩天強夜の嫁かく、本町壹丁目の角伊村理 のに御座候間御希望の御方の御婦人様で、男子方を 二十五分間、是ハ化學上有効にして衞生土無害のも 心致居候處今回愈々發明實行仕候染むる時間の僅 良 ılı 染染白 本町一 髮 染 丁目七 チデレケ 廣 虧地 ナチ 51

入輸直京東 **特別廉償を以て販**貿 內山商店 U B

學親切實際 D防县原柳兵伏東 藥劑師 $\mathcal{F}_{\mathbf{i}}$ 多數見戶賀坂 柳井旅館

南強海岸通り 耄 (電話三四四)

强廣告 以で販賣社候間多少に無き候股事酸謝候尚乍きにも不拘各位の調愛 木商店 (A)自齒 絵牌

勉强廣志 唐津石炭 印 が合 は本品に加くものにおいるのには、 國內洋服店 齊藤支店 電話掛號一四四

東町二丁目 園田時計店 無 銀金 金、泉、赤 郷村 一番 開風品を称き、 屏 調準が表現している。 表風フ 田松月堂 t))

| 大坂毎日新聞

四十八銭

和一ヶ月梅 三 拾

1

他共本花御ら會洋滋 御茶花御ら會洋滋 ス -

西出御町料 三心理 目(電話一二三) 日